

さて、と…耳のマッサージは終わったし…

となれば次は勿論…耳かき、だよねっ

…あれ、違った？

ご主人のよく聴いてるASMR音声だと、お耳マッサージと耳かきは抱き合わせのイメージだった  
んだけどな…

え？ そりゃ勿論っ。言ったでしょ、日頃の恩返しって

だからご主人は、遠慮なんてしてなくていいの

それに…普段あれだけ耳かき音声とか聞いているんだもん

大なり小なり、女の子に耳かきされたいっていう欲求は…あるんじゃないの？

…ふふふっ、正直でよろしいっ

それじゃあ…よい、しょ…

ほら、おいで、ご主人

…何、って…膝枕だよ、膝枕

耳かきといえは、これが鉄板なんですよ？

…んもう、何恥ずかしがってるの？

早くおいでってば。じゃないと、いつまで経っても耳かきできないでしょー？

…ん、観念してみたいだね

ほら、早くおいでー？

んっ…ひゃっ…

…あ、あう…

あ…これ…その…思ったより…は、恥ずかしいね…  
うう…ご主人がちょっと躊躇してた理由が分かるよ…

で、でもでも、これもご主人を癒すためだから…！  
恥ずかしいとか言ってられないよね…！

えっと…それじゃあご主人、綿棒、一本貰うね？

よい、しょ…

それじゃあ、この綿棒でご主人のお耳の中、お掃除していくね  
痛かったりくすぐったかったりしたら遠慮なく言ってね？

じゃあ、まずは左耳から…

…どう？ こんな感じでいいかな？

…丁度いい？

うん、ならこれくらいの強さでやっていくね

んー…ご主人、お耳の中、結構汚れが溜まってるね…

最後に耳掃除したのいつ？

…もう、それは流石にサボりすぎだよお

ASMRでお耳掃除された気になるのはいいけど、たまには本当にお掃除してあげてね？

あんまりお耳掃除サボったりしていると、病気になるっちゃうこともあるんだよ？

中耳炎とか、外耳炎とか…

ご主人、お耳で楽しむ趣味が多いんだから、お耳の病気になったりしたら困るでしょ？だから、こういうのはこまめにすること。分かった？

…え？ お母さんみたい…？

も、もう、何言って…それはご主人がちょっとだらしないから…

あ、でもご主人…

ご主人は、確かにちょっとだらしないところあるけど…

私のことは、こまめに掃除してくれてたよね

…ふふ。ご主人にとっては当たり前のことでも、イヤホンのお手入れする人、結構少なかったりするんだよ？

やっぱり、物のお手入れって面倒だし…

特にイヤホンは、そもそもお手入れするっていう考え自体浮かばない人がほとんどなんじゃないかな

それにほら、私って骨伝導イヤホンでしょ？

骨伝導イヤホンって耳に直接付けるわけじゃないから、お手入れなんて別にいいかゝって思われがちなの

確かに、普通のイヤホンとかと比べたら、お手入れいらずなのかもしれないけどね…でもご主人は、そんなの関係なしで、私のこと、大切にお手入れしてくれたでしょ？

…あれ、すっごく嬉しかったんだよ？

大事にされてるなあ、って伝わって…胸がポカポカして…

…だから、ありがとね、ご主人

あつ、大きいの発見…

動かないでね、ご主人…

んっ…しょ…よい、しょ…

お耳の中、傷つけないように…そーっと…そ〜…つと…

んっ…取れた…！

えへへ、大きいのが取れるとアレだね、達成感もひとしおというか…！

…こういう、実際に耳垢が取れた時の感動とか、達成感とかはさ

ASMR音声じゃ、味わえない感覚でしょ？

ふふ、たまにはいいでしょ。

実際に女の子に耳かきしてもらうのも。えへへっ…

え、い、いや別に嫉妬とかじゃ…！

ん…まあでも…きつと、私の方がご主人のこと気持ちよくしてあげられるのになあ…

とかは…思ったり、思わなかったり…

んむむ…！ だ、だってだって、ご主人ってばいっつも可愛い声の女の子の音声聴いてにへにへしてるんだもん！

私だって一応女の子だし…思わないところが無かったわけじゃ…ないんだよ…？

あ、でもでも、あれだよ…？

別に、そういう音声聴くのをやめてって言うてるわけじゃないんだよ？

それでご主人が癒されるなら、むしろじゃんじゃん聴いてほしいと思うし…

…でもこれからは…その…私が隣にいるんだからさ

そういう時は…今後、私に頼めばいいんじゃないかな…っ…

…う、うん……一任せて…！

ご主人の癒しは、これから私が全力で守ってあげるから！

…よし、っと…

こっちのお耳はこんなものかな…？

あ、っと…だめ、ご主人、まだ動かないで

仕上げが終わってないから…

……ふうふう…

……あはっ、ご主人、ビクツとしたね

でもご主人、これ好きなんでしょ？

ご主人が聴くASMRでも、これ、よくやってるもんね

…ふうふう…ふっ、ふう…ふうふう…

ふふ…くすぐりたい？

でも、そのゾクゾクする感じがいいんですよ？

私、知ってるんだからね。ふふふっ

ふうふう…ふうっ、ふっ…ふうふうふう…

…はい、おしまい！

うん、かなり綺麗になったと思うよ

どう？すっきりした？

…あはは、それは何より♪

それじゃ、次は反対ね。ん、そのままごろーんってして  
はい、ごろーん…

…っ…

こ、この態勢…

ご主人の顔が、私のお腹の方に…

うわあっ…こ、これ…さっきより恥ずかしいね…

あ、え、えっと…お腹とか鳴ったら、ごめんね…？

…あ、でもそういうのも、ご主人は好きなんだっけ…？

なんかこの前、ASMR中にお腹が鳴ったVtuberさんに「助かる」ってコメントしてたも  
んね…

あれってどういう意味なの、ご主人…？

…ふーん、深い意味はないんだ…？

私も、その…お腹鳴らしてあげたら…ご主人は、助かる…？

…ってごめん、変なこと聞いちゃった…！

今は耳かきに集中するね…！

ん、っと…右耳はどんな感じかな…っど…

…ん…っ…こっちも結構汚れてるね…これはお掃除のしがいがありそう…

それじゃあ、こっちも始めていくよ…っど…

…そういえばご主人、耳かき音声とか聞きながら、結構寝落ちしたりとかしてるよね

もし耳かきの途中で眠くなったりしたら、遠慮なく寝ていいんだからね？

…そ、そっか…

…うん、ありがとう…

私も、ご主人と少しでも長く話したい、かな…

あ、でもでも、私に気を遣わないで、本当に眠かったら寝ていいんだからね…？

うん、そこは本当に無理しないでね

…ふふ…なんか…夢みたいだなあ…

こうやってご主人とお話してできるの

…ふふふ、そうだよね。まさかイヤホンが女の子になっちゃうなんて、思ってもみないよね  
でも、アニメとか大好きなご主人にとっては、美味しいシチュエーションだと思わない？

あ、あはは…まあそりゃ驚きもするよね…ご主人、警察呼ぼうとしてたし…

んー、私…？

うん、そりゃ勿論驚きはしたけど…けど、それ以上に嬉しかったかな  
ご主人と同じ人間になれて、ああ、ご主人とこれからはちゃんとコミュニケーションが取れるん  
だ……！

って、思わず泣いちゃいそうになるくらい、感動したもん

…そ、そりゃそうだよ

私にとってご主人は、それくらい大事な存在だもん  
替えの効かない、唯一無二の人なんだから…

…ねえ、ご主人はさ

何で、私にしようって思ったの？

…あ、ごめん、言葉足らずだったね…

えっとね。何で、私を…骨伝導イヤホンを買おうって思ったの？

ほら、今時イヤホンなんて無数に種類があるし、何で骨伝導イヤホンにしたのかなーって…

……うん。うんうん…

ああ、うん、確かに…

普通のイヤホンって耳をふさいじゃうから、周りの音が聞こえなくなるんだよね

それが原因で、車の音に気が付かなくて事故に遭ったり…って話も聞くし…

うん、病気もそう

さっきもちよっと話したけど、普通のイヤホンって簡単に汚れとかが溜まっちゃうから

その汚れが原因でお耳の病気になったりとか、意外と健康被害もあったりするもんね

あとは単純に、大音量の音楽を聴きすぎて、耳が遠くなっちゃったりとか…

へー…ご主人、意外と考えて私のこと買ってくれたんだね

てっきり、骨伝導イヤホンはASMRのゾクゾク感が直に味わえるから…とか、そんな理由だと

思ってた

あはははっ

……あ、やっぱり一番の理由はそこなんだ

ふふふっ、ご主人らしいや

…でもご主人。骨伝導イヤホンもさ、ほら、いっぱい種類あるでしょ？

安いから高いのまでピンキリで…

私…自分で言うのもなんだけど、安くも高くもない、なんていうかその…

普通のイヤホンだからさ



何で、私のこと、選んでくれたんだろうって…ずっと、気になってたの  
ご主人…私を選んだ理由…教えてくれる…？

…え…デザインに、惹かれた、から…？

くくく…！

も、もうご主人…！ 女の子に、気軽にそんなこと言うなんて…！

ご、ご主人ってば、すけこましたよお…！

だ、だってだって…！

…うう…いい、イヤホンに…デザインがいつて言うのはね、ご主人…

女の子に、可愛いねって言ってることと同じなんだよ…？

分かる…？だって、見た目を褒めてるわけなんだからさ…

う、ううん、謝らなくていいの…！

ご、ごめん、私も急に言われたから、照れちゃっただけで…！

む、むしろ、その…嬉しいよ…

ご主人に…そんな風に言ってもらえて…

そっか…私の、デザインに惹かれたんだ…えへへ…

え、えっと…それじゃあ、仕上げしちゃうね…！

いくよー…

ふうふう…ふうふう…ふうふう…

ふう…ふう…ふう…ふうふう…ふうふう…

…ん、これでおしまい…っと…

……ねえ、ご主人

…私のことを選んでくれて、ありがとう

…ちゅっ

…私、ご主人に選ばれてとっても幸せだよ

…ご主人。あのね…私…ご主人のこと、好き

ん、ちゅっ…ちゅうつ…ちゅぷ…

大好き、だよ…

ん、ちゅう…ちゅっ…ちゅう…

…えへへ、ちょっと大胆なことしちゃった

嫌じゃなかった…？

…えへへ、そっか…ドキドキしてくれたんだ

ふふ…嬉しいなあ…

私のこと…一人の女の子として見てくれるんだ…

ありがとう…

…ねえ、ご主人…

せっかく人間になったからさ…私、もっとご主人と触れ合いたい…

いい、かな…？